



2023年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社 コックス
代表者名 代表取締役社長 三宅 英木
(コード番号：9876 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 柳澤 愛
(TEL：03-5821-6070)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム)

法人税等調整額（益）の計上及び通期連結業績予想と連結業績の差異ならびに 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）において、法人税等調整額（益）を計上するとともに、2023年1月13日に発表いたしました通期業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年2月期の個別業績においても、前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額（益）の計上

2023年2月期及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上することといたしました。これにより、2023年2月期において、法人税等調整額(△は利益)を△23百万円計上することとなりました。

2. 2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,600	400	380	118	4.2
実績値 (B)	14,859	427	421	207	7.53
増 減 額 (B-A)	259	27	42	89	—
増 減 率 (%)	1.8	6.8	11.1	76.2	—
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	13,276	△872	△832	△1,370	△49.65

3. 連結業績予想と実績値との差異の理由

2023年1月13日にお知らせいたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」では、新型コロナウイルス感染症による影響が一定期間残り、緩やかに回復することを想定しておりましたが、影響は軽微であったこと、外貨建て債務の支払における為替差損の計上が軽微となったこと、及び第1項記載の法人税等調整額の計上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を上回る結果となりました。

4. 2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	13,271	△877	△823	△1,362	△49.3
当期実績 (B)	14,852	422	428	214	7.78
増減額 (B-A)	1,581	1,300	1,252	1,576	—
増減率 (%)	11.9	—	—	—	—

5. 個別業績と前期実績値との差異の理由

売上高は、正価商品の販売ピーク時期における認知度向上、売上拡大のための雑誌タイアップ販促を3月・4月と10月・11月の合計4回実施した結果、既存店売上高前年比は122.4%まで伸長いたしました。さらに、前会計年度においてライフスタイル化の実験を行なった店舗の実績を踏まえ、ikkaブランドのリニューアルを合計40店舗実施したこと等により前年比111.9%となりました。

利益面は、売上の増加に加え、商品において、バーゲン時期の値引き販売の抑制、商品投入スケジュールの見直し等に継続して取り組む一方で、キャリー商品の評価見直しを実施した結果、売上総利益率は、57.8%と前年から0.4ポイント増加し、期末商品残高は前年差4億54百万円の削減となりました。

更に販管費は、人件費、設備費等の固定費削減の取組みにより前年比96.1%となりました。

売上総利益の増加と販管費の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前年を大幅に上回る結果となりました。

以 上